

平成 29 年 度

# 事 業 報 告 書

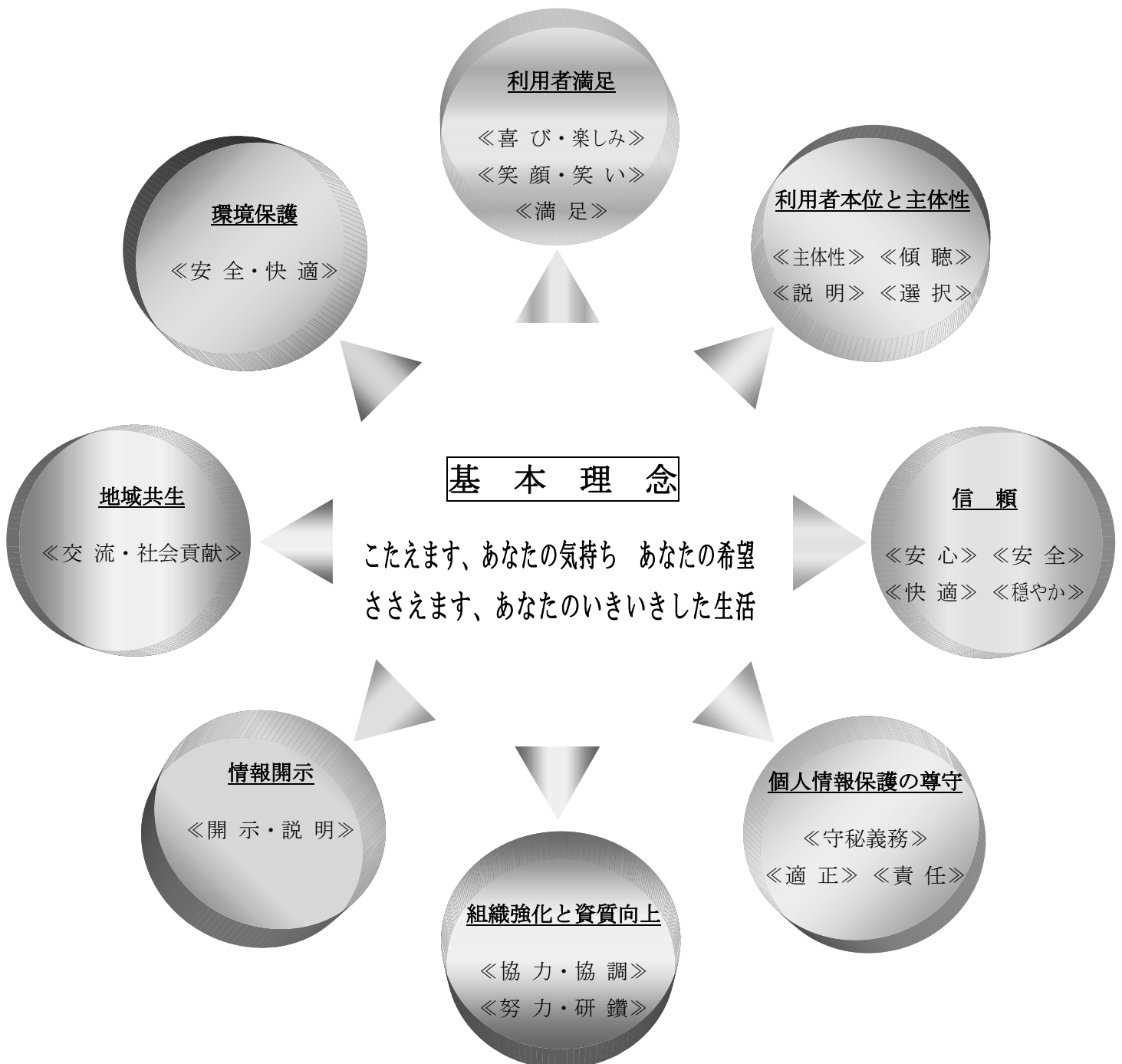
社会福祉法人 札 幌 厚 生 会

白 石 福 祉 園

# 基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

## 《私達の基本的な考え方》



## 施 設 の 概 要

1	施設の名称	白 石 福 祉 園
2	所 在 地	札幌市白石区川北 2272 番地 8
3	施設の種類	生活保護法による救護施設
4	設 置 主 体	社会福祉法人札幌厚生会
5	経 営 主 体	同 上
6	設立年月日	昭和 29 年 12 月 14 日
7	創 立 者	助 川 貞 利
8	理 事 長	上瀬戸 正 則
9	施 設 長	石 井 喜代美
10	入 所 定 員	100 名
11	職 員 構 成	施設長：1 事務員：2 主任生活指導員：1 介護職員：17 看護師：2 栄養士：1 調理員：4 介助員：1 医師(2)嘱託 計 29(2)名
12	移 転 改 築	平成 6 年 3 月 10 日（白石区川北に移築）
13	敷 地 面 積	5, 0 4 3 m <sup>2</sup> （札幌市貸与）
14	建 物 面 積	2, 8 8 1. 8 3 m <sup>2</sup> （札幌厚生会）
15	施設の沿革	

昭和 29 年 8 月札幌市において、天皇、皇后両陛下を迎えて北海道国民体育大会が開催されたが、この機会に札幌駅及び市内に散在する浮浪者ならびに一時保護者を桑園駅前にある元市営市場事務所を使用、収容したのが始まりである。その後、閉鎖するに当たり、帰住先のない人や他施設への収容替えが不可能な身体的、精神的に障がいがあり、独立して日常生活ができない人が 30 名程おり、この人々のため施設の設置を札幌市と協議し、現在の白石区平和通 5 丁目に市所有地 7,260 m<sup>2</sup>の無償貸与を受け、共同募金配分、寄付金により 280.5 m<sup>2</sup>の園舎を建築し事業を開始した。

利用者の激増により、昭和 30 年、32 年、38 年度道費補助により増築、定員 150 名となったが、平成 3 年度法人の利用者調整により定員 100 名となる。

平成 5 年 6 月には、市有地 5,045 m<sup>2</sup>の無償貸与を受け、永年の計画であった老朽整備による建替が行われ、平成 6 年 3 月 10 日完成（3/21 移転）し現在に至る。

施設機能の強化面においては、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、平成 27 年度までの各種事業の取り組むべき計画の中から、平成 26 年 9 月から利用者 3 名による「居宅生活訓練事業」を実施している。

# 総 括

## はじめに

ここ数年来、利用人員が定員割れをしている状況が続く中、今年度は平均措置人員 95.8 名の実績でした。居宅生活訓練事業のように、自立支援を目標にした短期利用など対応の幅を広げるように努め、また一時入所についても積極的に対応してきました。しかし、定員の確保は出来ていない状況であり、今後も関係機関との連携を強め、様々なニーズに対応できるように努めなければなりません。

また、改正社会福祉法の施行により、これまで以上に公益性の高い事業運営が求められますが、白石区北郷瑞穂福祉推進委員会活動への参加（高齢者世帯の見守り・訪問活動）と、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動への参加（お年寄りや障がいのある方宅の除雪）は重要な位置づけであり、施設職員としてというより社会福祉法人の職員としてという意識のもと継続して活動しました。

さらに、救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針による居宅生活訓練事業のみではなく、生活支援困窮者支援にかかるホームレス支援センターや生活就労支援センターなどの関連機関との協力を進め、就労支援事業所より、就労体験実習を計 3 名、延べ 31 回の受け入れを行いました。

施設利用者様の状況について、平均在所期間が 20 年以上、年齢も 70 歳以上となっており、自立支援を目標にする一方、生活の場としてこれからも支援していけるよう、一人ひとりのニーズに応えられるように努めました。

## <重点目標>

### 1. 個別支援の充実

利用者様一人ひとりの満足のためにはその人にあった支援が必要であり、個別支援計画の作成と実践を進めていきました。利用者様との対話、一人ひとりの意向を尊重し、日々の日課やクラブ活動、作業、レクリエーションなどの企画実施に生かせるようにし、自立支援、地域での生活を希望される方には、居宅生活訓練事業への参加や、必要な支援を受けられる地域資源の活用などに結びつけるように努めました。

また、施設生活において依存的にならないよう自立を促し、主体的な生活ができるよう働きかけに努めました。

### 2. 信頼関係の基づく支援

個別支援を進めていくうえでも基本となるのは対人的な信頼関係であると考え、利用者様一人ひとりを尊重するうえで、問題とされる虐待行為の防止のためにも意識の向上と、利用者様との信頼関係の構築に努めました。

### 3. 健康の維持管理

生活を楽しくしていくためには、何よりも健康の維持管理が重要と考えます。しかし、もともと疾患を抱えていたり、高齢化による ADL の低下など、不安や悩みを抱えているのが常と受け止め、日常の関わりを大切にしました。

日課として機能訓練、また、柔道整復師による個別のリハビリ訓練を継続実施し ADL 低下の防止を図り、内科、精神科嘱託医、通院先の医療機関との連携を密にし、健康管理に努めました。また、感染症対策については、「予防」を重視し、保健衛生委員会を中心とした注意喚起や日常の衛生指導に努めてましたが、1月から2月にかけてインフルエンザが蔓延するという課題が残りました。

#### 4. 食事と栄養管理

生活の中で大きな楽しみの一つである食事について、献立や提供の仕方を工夫し、楽しんで食事をしていただくとともに、健康管理のために必要な配慮をし、介助を要する人には誤嚥や喉詰りが無いように努めました。

また、食材及び厨房設備備品の衛生管理、従事する厨房職員並びに介助する職員全員の衛生管理も徹底する必要があり、保健衛生委員会及び栄養士の主導のもとに、利用者様を含めての衛生教育、管理を進めました。

#### 5. 居宅生活訓練事業、緊急一時入所事業

居宅生活訓練事業については、就労や地域生活への移行という実績もでき、本年度も1名が就労、自立(保護廃止)しましたが、課題を明確にしながら共に取り組んでいくこと、地域生活移行後に必要であれば相談体制を取れるように、独自に地域生活移行者見守り事業として、地域生活移行者の見守りを行いました。

緊急一時入所に関して、単にホームレス状態ということではなく、別な生活課題を抱えている利用状況もあり、実施機関や他の関連機関との連携のもと支援をしました。

#### 6. 地域貢献活動

地域貢献活動は前述のとおり社会福祉法人の責務とされることもあり、これまでの関係団体(町内会や社会福祉協議会等)との連携を図りました。

白石区北郷瑞穂福祉推進委員会活動では、2名の推進委員で5名を担当し訪問見守りを行い、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動は9回の出動でした。

#### 7. 防災対策

特にハザードマップにおいては水害を受ける危険地域となっていることから、常日頃から想定外ではなく被害を想定した対策を確認し、安全に避難できる体制を整えるためのマニュアルを作成し、その想定のもとに訓練も実施しました。

また、火災や地震による非難に関して、専門業者による防災設備点検のみではなく日常点検の実施や、防火管理者主導のもと、職員に対する教育指導や施設全体での避難訓練を定期的に行いました。

#### 8. 職員の資質、処遇の向上

複雑化・多様化する福祉ニーズへの対応と、施設に求められる機能強化のため、職員資質と処遇技術の向上を図るため、各種の外部研修への職員参加を計画的におこない、救護施設親愛の家(歌志内市)、救護施設東明寮(帯広市)と交換研修を継続実施しました。

また、オムツの使用方法に関する内部研修を実施しました。

#### 9. 利用人員の確保

ここ数年、新規利用者様の取扱が少ないことから定員割れの状態が続いており、「入所には対応が困難」ではなく「どうしたら対応していけるか」、また、地域生活に移行する、他の機関を利用するまでの短期的、一時的入所も含めた対応の幅を広げていくように努めました。また、そうした対応のためにも、医療機関や相談機関等との連携作りにも努めました。

## 10. 各種委員会活動の取り組み

### (1) ヒヤリ・ハット委員会

今年度も多くの報告があり、職員間で防止策を検討し迅速な対応をしてきました。

ヒヤリ・ハットの傾向としては、一人の利用者さんに見られる報告が多く、全体的な人数としては減少傾向にあると感じます。個々に対する対策を検討することで更にヒヤリ・ハットが減少できることが確認されたと思います。しかし、高齢化・障がいの重度化が顕著であることから、未然に防げる対策を職員間で今後も検討して行きたいと思えます。

### (2) メンタルヘルスケア委員会

継続的に外部の専門的な研修に職員が参加しております。今年度も職場の雰囲気は、勤務時間外での外部団体開催の食事会やスポーツレクリエーションへの職員同士の参加が多く、適度なストレス発散が出来ている状況が見受けられ、比較的良い雰囲気であると感じております。これを維持していくために、継続的に外部団体で開催されている交流事業への案内を積極的に回覧し、気分転換の出来る場の提供の周知を積極的に行って参りました。また、委員会で多くの職員が誘い合って参加している様に親睦会から補助を行ってはどうかという意見があり、若干ですが補助を行った所、食事会へ24名が参加、スポーツレクリエーションへ16名が参加しました。来年度以降も補助と声掛けを行い、多くの職員と一緒に参加して、気分転換を図り、この職場の雰囲気を維持していけるよう勧めていきたいです。

### (3) 評価基準委員会

台風による災害が道内各地で見られたこともあり、この委員会で検討すべき事項か疑問はありましたが、非常食や災害時に使用する備品等の準備と保管場所について検討し、無事に災害時に不便なく利用することが出来るよう設置・確保することが出来ました。また、全職員への周知の徹底を図ることが出来ました。今後は、他地域の救護施設や当法人の各施設で受けている第三者評価を受けていかななくてはならないと考えております。第三者評価を受けることにより様々な刺激を受けるとともに改善しなくてはならないことにも気付き、施設職員としての意識向上が図れるものと考えております。

### (4) 保健衛生委員会

例年ではありますが、委員会としてノロウイルス・インフルエンザ等の感染症の対策を中心に施設内の消毒を進めてきた結果、今年度はインフルエンザ罹患者が39名に感染発生しました。施設利用者の中でも高齢者に限ってはおりますが、肺炎球菌ワクチンの接種も進めて参りました。今年度においても同様に進めて参りたいと考えております。本年度に行ったマニュアルに基づいた、職種間の連携を深め予防や重度化にならないように活動していきたいと思えます。

### (5) 施設内研修委員会

今年度は当初の計画通りに進めることが講師の調整などで難しく、大部分は来年度に持ち越すことになりましたが、その中でも防災センターへの見学や業者さんを招いての講習会を企画・運営してきました。

来年度においてはアンケートを実施し、今年度実施できなかった講習も含めて、方向性を決めていきたいと思えます。

### (6) 身体拘束廃止委員会

重度の障がい者に対し、安全確保のため拘束せざる得ない場合もあり、家族の同意の元対応させて頂いているが、できる限り拘束をしない環境を考え居室の整備等を行ってきました。職員の見守りや観察を細目におこない、拘束時間等を短縮または廃止できる対応をおこなっています。

# 平成29年度事業実施報告

## 1. 職員の教育訓練

<各種大会・研修会・研究会参加>

○第21回北海道抑制廃止研究会 山崎・岡野	6月10日	札幌市
○第40回札幌市福祉大会 (札幌市功労者表彰：石井園長) (札幌市社会福祉事業永年勤続者表彰：向後・嶋田・水沢)	7月4日	札幌市
○第47回全道救護施設職員研修会 石井園長・工藤・水沢・阿部満・鈴木裕	7月11日～12日	函館市
○メンタルヘルス研修 阿部健	7月8日～9日	札幌市
○帯広市東明寮職員相互実習研修 栗生・後藤	8月17日～19日	帯広市
○歌志内市親愛の家職員相互実習研修 盛・佐々木	9月4日～6日	歌志内市
○第67回北海道福祉大会 (北海道社会福祉協議会会長顕彰：石井園長・工藤)	9月7日	苫小牧市
○介護職員専門研修Ⅱ 馬場	9月14日～15日	札幌市
○第41回全国救護施設研究協議大会 石井園長・松本・嶋田・澤田石	10月19日～20日	広島県
○福祉専門職のためのキャリアアップ専門研修(チームリーダーコース) 平山	11月1日～2日	札幌市
○平成29年度全道救護施設研究セミナー 石井園長・佐藤元・松浦・廣川・鈴木俊・福士・田村	11月15日～16日	札幌市
○介護職員専門研修Ⅰ 上原	11月30日～12月1日	札幌市
○全国救護施設福祉サービス研修 原田・佐藤千	12月5日～6日	東京都
○障害者虐待防止リーダー職員研修会 向後	1月22日～23日	東京都



## 2. 職員の配置状況

(30. 3. 31現在)

		施設	事務	主任	指導	寮	看護	栄養	調理	介護	医師	その他	計
		長	員	指導員	員	母	師	士	員	員	師	他	(人)
定数		1	2	1	0	17	1	1	4 (1)	1	(1)	0	28 (2)
現在 員	常勤	1	2	1		19	2	1	4	1			31
	嘱託										(2)		(2)
	非常勤								(4)			(6)	(10)
合計		1	2	1	0	19	2	1	4 (4)	1	(2)	(6)	31 (12)

※ 嘱託・非常勤職員の人数は（ ）内に表示

※ 医師は、嘱託内科医師1名、嘱託精神科医師1名の計2名

※ その他の非常勤職員は、契約巡視員3名、契約洗濯員2名、契約清掃員1名の計6名

## 3. 平成29年度 職員人事異動

(30. 3. 31現在)

氏名	職名	発令区分			備考
		就任	退任	異動	
水沢結花	介護職員			29. 4. 1	札幌市あけぼの荘より
阿部満千子	看護師		30. 1. 31		定年退職
亀田かおり	看護師	30. 2. 1			新規採用



#### 4. 年度の動き

要 項	年 月 日	記	事
1. 監 査 等	29. 5. 1	白石消防署立入検査	署員2名来園
	29. 5. 15	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他2名
	29. 7. 25	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他2名
	29. 10. 14	衛生監視	
	29. 10. 26	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他2名
	30. 2. 6	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他1名
	30. 2. 8	札幌市社会福祉施設に対する指導監査	
2. 札幌厚生会 理事会・評議員会等 施設長会議	29. 4. 21	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 5. 23	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 5. 26	札幌厚生会理事会	石井園長
	29. 6. 12	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 6. 16	札幌厚生会評議員会	石井園長
	29. 7. 28	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 9. 27	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 9. 29	札幌厚生会理事会	石井園長
	29. 10. 27	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 11. 22	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 12. 11	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	29. 12. 15	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長
	30. 1. 23	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	30. 1. 31	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	30. 2. 28	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	30. 3. 23	札幌厚生会施設長会議	石井園長
30. 3. 28	札幌厚生会理事会	石井園長	
3. 会 議 等 (1) 官 公 署 (2) 社 協 他 関係諸団体  (3) 部 内	29. 4. 14	札幌市保健福祉局保護指導課との施設長・事務長会議	石井園長他1名
	29. 4. 17	保護司研修	石井園長
	29. 5. 10 ~ 11	全国救護施設協議会総会・施設長会議（東京都）	石井園長
	29. 7. 26	救護施設・相談担当合同会議（ホームレス対応打合せ等）	石井園長他2名
	29. 8. 25	保護司研修	石井園長
	29. 8. 29	保護司研修	石井園長
	29. 11. 30	保護司研修	石井園長
	30. 3. 15	地域生活定着支援事業懇親会	向後
	29. 4. 7	処遇会議	
	29. 4. 14	処遇会議	
	29. 4. 21	処遇会議	
	29. 4. 24	定例職員会議5月分	
	29. 4. 28	処遇会議	
29. 5. 12	処遇会議		

要 項	年 月 日	記	事
	29. 5. 19	処遇会議	
	29. 5. 26	処遇会議	
	29. 5. 29	定例職員会議 6月分	
	29. 6. 2	処遇会議	
	29. 6. 9	処遇会議	
	29. 6. 16	処遇会議	
	29. 6. 26	定例職員会議 7月分	
	29. 6. 30	処遇会議	
	29. 7. 7	処遇会議	
	29. 7. 14	処遇会議	
	29. 7. 21	処遇会議	
	29. 7. 28	処遇会議	
	29. 7. 31	定例職員会議 8月分	
	29. 8. 4	処遇会議	
	29. 8. 25	処遇会議	
	29. 8. 31	定例職員会議 9月分	
	29. 8. 29	処遇会議	
	29. 9. 8	処遇会議	
	29. 9. 22	処遇会議	
	29. 9. 25	定例職員会議 10月分	
	29. 9. 29	処遇会議	
	29. 10. 6	処遇会議	
	29. 10. 13	処遇会議	
	29. 10. 20	処遇会議	
	29. 10. 27	処遇会議	
	29. 10. 30	定例職員会議 11月分	
	29. 11. 9	処遇会議	
	29. 11. 17	処遇会議	
	29. 11. 24	処遇会議	
	29. 11. 30	定例職員会議 12月分	
	29. 12. 8	処遇会議	
	29. 12. 15	処遇会議	
	29. 12. 28	定例職員会議 1月分	
	29. 12. 29	処遇会議	
	30. 1. 12	処遇会議	
	30. 1. 19	処遇会議	
	30. 1. 26	処遇会議	
	30. 1. 29	定例職員会議 1月分	

要 項	年 月 日	記 事
	30. 2. 16	処遇会議
	30. 2. 23	処遇会議
	30. 2. 26	定例職員会議3月分
	30. 3. 2	処遇会議
	30. 3. 16	処遇会議
	30. 3. 26	定例職員会議4月分
	30. 3. 30	処遇会議
4. 研 修 説明会等 (教育訓練・上記記載以外)	29. 7. 10	北海道救護施設研究セミナー研修委員会 佐藤元・鈴木俊
	29. 10. 1	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会 山崎
	29. 10. 6	不在者投票説明会 山崎
	29. 11. 7	社会福祉法人経営労務管理セミナー 石井園長
	29. 11. 22	年末調整講習会(プロテック) 松浦
	29. 11. 24	年末調整講習会(税務署) 山崎
	30. 3. 15	施設内研修(おむつ使用方法について) 12名参加
	30. 3. 31	職場見学会(事業主行動計画推進事業) 職員の子供10名来園
5. 来 訪 (1) 視察・見学 ボランティア	29. 6. 26~7. 7	道都大学実習生 1名
	29. 6. 29~7. 1	歌志内市親愛の家職員相互実習研修(受け入れ) 2名
	29. 7. 1	夏祭りボランティア 23名
	29. 7. 13	札幌市赤十字奉仕団北白石分団 見学 26名
	29. 7. 19~21	帯広市東明寮職員相互実習研修(受け入れ) 1名
	29. 11. 11	第63回開設記念行事来客者 来客者108名+ボランティア23名
(2) 実態調査	29. 5. 12	三笠市 戸松主事・千葉主事 (対象者1名)
	29. 5. 24	白石区 田本主事・盛主事 (対象者4名)
	29. 6. 19	千歳区 海谷主事・野原主事 (対象者2名)
	29. 6. 29	旭川市 中谷主事 (対象者3名)
	29. 7. 5	伊達市 佐藤主事・中村主事 (対象者2名)
	29. 7. 20	岩見沢市 須田主事 (対象者3名)
	29. 7. 25	白石区 田本主事 (対象者3名)
	29. 8. 30	富良野市 墓田係長・菅野主事 (対象者1名)
	29. 8. 30	稚内市 田中主任・鎌田主事 (対象者1名)
	29. 8. 30	白石区 田本主事 (対象者5名)
	29. 9. 7	北見市 松浦主事・山口主事 (対象者4名)
	29. 9. 12	江別市 中村主事・吉村主事 (対象者1名)
	29. 9. 25	釧路総合振興局 二宮主事 (対象者1名)
	29. 9. 25	白石区 田本主事 (対象者5名)
	29. 9. 27	オホーツク総合振興局 山下主事 (対象者2名)
	29. 9. 28	伊達市 佐藤主事・中村主事 (対象者1名)
	29. 10. 11	釧路市 其田専門員 (対象者1名)

要 項	年 月 日	記 事	事
	29. 10. 26	十勝総合振興局 筒井 主事	(対象者 4名)
	29. 10. 27	紋別市 芳賀 主任	(対象者 2名)
	29. 10. 30	夕張市 石浦 主事	(対象者 2名)
	29. 11. 1	後志総合振興局 漆戸 係長・大戸 主事	(対象者 3名)
	29. 11. 2	留萌振興局 岡元 係長・小高 主事	(対象者 1名)
	29. 11. 10	日高振興局 野元 主事・堀口 主事	(対象者 2名)
	29. 11. 17	小樽市 佐藤 主事	(対象者 3名)
	29. 12. 22	三笠市 戸松主事・坂上主事・千葉主事・村上主事	(対象者 6名)
	30. 1. 19	三笠市 戸松 主事	(対象者 1名)
	30. 2. 1	千歳市 海谷 主事	(対象者 1名)
	30. 2. 2	白石区 田本 主事・盛 主事	(対象者 1名)
	30. 3. 20	釧路総合振興局 林 主任	(対象者 3名)
6. 儀 礼	29. 5. 1	第64回 静心寮開設記念	職員7名訪問
(1) 表 敬	29. 5. 9	第55回 札幌市あけぼの荘開設記念	職員8名訪問
(2) 慰 問	29. 5. 17	第98回 札幌明啓院創立記念	職員4名訪問
	29. 9. 3	第25回北翔祭(札幌あゆみの園)	出勤介護職員
	29. 9. 10	第18回光友園まつり	出勤介護職員
	29. 12. 4	有限会社機弘社エンターテイメント	ジャグリング等のパフォーマー
7. そ の 他	29. 6. 8	深夜勤務者検診	18名
(1) 受 章	29. 8. 14	夜間想定検証制度	
(2) そ の 他	29. 8. 18	慰霊祭(物故者法要)	
	29. 9	腰痛検診	9名
	29. 10. 16	第48回衆議院議員選挙・第24回最高裁判所国民審査 不在者投票	20名
	29. 10. 21	生活習慣病予防健診	全職員
	29. 11. 25	札幌救護施設協議会スポレクボウリング大会・懇親会	14名
	29. 11~12	マンモグラフィ検診・子宮癌検診	17名
	29. 12. 15	札幌厚生会むつみ会総会	25名
	30. 1. 6	親睦会新年交礼会	30名
	29.5.30 ~ 29. 8. 9	就労移行支援事業所より依頼の就労体験実習	実習者1名 26回実施
	29.9.26・29. 9.28	就労移行支援事業所より依頼の就労体験実習	実習者1名 2回実施
	29.12.5 ~ 29.12.14	就労移行支援事業所より依頼の就労体験実習	実習者1名 3回実施
	29. 12 ~ 30. 3	法人社会貢献事業(福祉除雪サービス)	9回実施

# 生活相談

## 1. 生活相談

利用者様には、生活上の問題や様々な疾病を患った方が多く利用されているため、健康管理を中心に自立した生活を送れるよう支援を行ってまいりました。

団体生活となる施設では、利用者様が安心して生活できるよう規則がもうけられていますが、時代に合った生活環境を整えることが必要であると年々感じ、生活環境の改善にも積極的に取り組んで参りました。

施設生活を送る中で、利用者様の身体状況等から、個別支援計画とケアプランに分け、一人一人に合わせた支援計画を作成して参りました。

個別支援計画では、利用者様のアセスメントを見直し、希望要望から優先的に支援が必要な部分を再確認し、目標を持って共に歩んで行けるよう、支援計画の作成を行って参りました。利用者様の希望要望を聞き取る際には、信頼関係が重要であるため、対話を重視し関係の構築にも努めて参りました。

その他に利用者様には、共同生活を送る中で様々な役割分担の中、施設生活を主体的に送り、協調性や責任感が身に付く様、当番などにも参加していただきました。

また、重度の障がいを持った利用者様には、ケアプラン方式にて身体的に必要な支援を中心に計画する中で、施設生活を楽しんでもらえるよう、行事等も工夫し支援計画を作成して参りました。

全体レクリエーションでは、利用者様の希望要望を聞き取り、身体的な状況等も考慮し、内容を検討、楽しんで参加していただけるよう企画し、実施してきました。

また、売店は利用者様が一番に楽しみにしている行事であるため、大手の移動売店を年間で計画し、継続して実施することで生活意欲の助長も図れたと思います。

近年、一時入所者の相談も増え積極的な受け入れを行い、各関係機関との連携を図ることで、地域への移行又は施設への入所に繋げて参りました。

単身生活や医療機関から来る方々には、施設生活は生活環境が変わるため、大きな身体的・精神的な負担となってしまうことから、安心して生活できるような対応にも心がけ取り組んで参りました。

今年度も自立を目指す方への訓練として、「居宅生活訓練事業」を継続してきました。

訓練に参加されている利用者様は単身生活を目標に、必要なスキルを習得するため頑張って参加されています。施設としては、地域生活に自信を持って移れるようよう支援をし、今後も継続して取り組んで行きたいと思っております。

今年度は緊急一時入所の当番施設ということもあり、多くの方が利用されました。

緊急一時入所の利用者様は一時的な利用ではありますが、スムーズに地域移行できるよう関係機関と連携を図り、対応してまいりました。

## 2. 居宅生活訓練事業

施設からの自立を目指す利用者さんには、「居宅生活訓練事業」を通して、より地域社会に近い形で訓練をおこない、現在どのような問題があるのかを把握することで、自立に向けた課題を職員と確認し、課題となる問題を克服するよう生活に必要なスキルの向上に努めてきました。

今年度は一名の利用者が、就労に結びつき自立生活への準備をしています。

### 3. 個別支援計画

個別支援計画では、利用者様の希望や要望から支援計画を作成し実践に移してきました。支援計画を作成するにあたり、信頼関係なくしてはより良い支援に結び付かず、利用者様からも本心も引き出すことが出来ないため、対話を重視し対応してきました。

重度障がいのある利用者さんに関しては、ケアプラン方式での支援計画の作成を中心とし、安心した生活と楽しみを持ってもらうよう支援計画を作成し実践してまいりました。

### 4. 緊急一時入所者の対応

今年度の利用傾向としては若年層の依頼が多く、その背景として軽度の障がいを患った方が利用されました。当施設としては、関係機関と連携を図り、その人に合った生活の場を相談し、自立した生活に繋げていくことが出来たと思います。

### 5. 地域及び関係機関との関わり

夏祭りや開設記念を通じ、町内会ボランティアや学生ボランティアに協力してもらい、施設利用者さんとの交流を図ることが出来ました。

### 6. 家族との交流

家族との交流については、広報誌「みちしば」の送付の他、夏祭りや開設記念行事の案内、日常の中での電話連絡やハガキ・手紙の送付等にて交流を図ってきました。

また、利用者から、お墓参りや親族へ面会等の希望もあり、ご家族の協力得ながら交流を図ることも出来ました。

### 7. 作業

今年度の作業は、年度途中で担当職員が不在となったため、割箸作業を休止せざるを得ない状況となったため、極端に少なくなっております。次年度は担当職員を配置し、割箸作業を再開したいと考えております。

少人数での作業として地域のリサイクル業者より依頼され、電気コード等から銅線を取り出す作業も行っております。カッター等の危険物を使用すること、非常に力とコツのいる作業という理由から人数を限定して行っております。この業者には、利用者が就職した経過もあり、今後も地域の企業とのつながりを持ちつつ、依頼があれば、銅線作業を行っていきたいと考えております。

#### 平成 29 年度 割箸作業実績

- ・総収入金額 84,075 円 (平成 28 年度 179,425 円)
- ・一人当たりの収入金額  
平均 1,620 円 (参加者 51 名)

#### 平成 29 年度 銅線作業実績

- ・総収入金額 20,109 円 (平成 28 年度 6,000 円)
- ・一人当たりの収入金額  
平均 5,027 円 (参加者 4 名)

今年度初めには天候に恵まれず、寒暖差の激しい日が続いたため序盤は作物の成長にばらつきがあり、収穫できないのではないかと不安がありましたが、その後、天候も安定したことで利用者さんが食べられる分の収穫ができ、食事に取り入れ提供していくことができました。特にピーマンは豊作であり食べきれない程立派なものが収穫できました。畑作業を行ってくれた利用者さんも暑い中一生懸命手入れ等をしてくれた結果だと思えます。

来年度も引き続き、事前にしっかりと準備をして畑作業に取り組み、利用者さんの楽しみとなるような取り組みをしていきたいと考えております。

平成 29 年度収穫

ぶどう (106 kg) ・小松菜・ピーマン・トマト・南瓜・ブロッコリー・キャベツ

## 8. リハビリ訓練

今年度も、利用者様の身体機能の低下予防と改善することを目標に実施してきました。担当職員が不在の為、週 2 回の実施が確実にできなかったこともありますが、他の相談員により出来る限り実施することで概ね継続した訓練ができたと思えます。機器の設定を見直し、個々に必要な訓練ができたと感じます。

年間実施回数 64 回 平均参加人数 10 名

柔道整復師の専門的な施術が必要な方に週 1 回ですが平成 23 年より行っており、今後も継続していきたいと思えます。

年間実施回数 45 回 平均参加人数 8.9 名

## 9. 防災体制

利用者様も高齢化が目立ち、より災害時の避難に時間がかかってしまうことが考えられる事から、規定時間内での避難ができるよう1年間を通じ、実践と対策を考えて取り組んでまいりました。

火災に関しては、毎月出火場所を変え、避難ルートの確認をしながら迅速な避難誘導ができるよう実施してきました。

地震訓練では、発生時にどのような行動が必要であるか、また誘導時にも起こりうる揺れも利用者様が不安にならないよう、冷静な判断で安全に避難できるよう努めてきました。

水害訓練では避難行動も含め、実際に起こった場合の避難に必要な日数に対する備品の確認や対応の仕方を再確認することで、災害に備えた職員の意識が高まったと感じます。

今後も、様々な災害を想定し訓練を実践することで、万が一に備えた避難体制と利用者様が安心して生活できるよう取り組んでまいります。

### 訓練実施状況

実施月日	訓練内容	備考
4月10日～28日	教育訓練	全職員に実施(職員)
5月22日	総合訓練	日中想定・消火訓練含む
6月19日	総合訓練	日中想定・スロープ訓練
7月20日	総合訓練	夜間想定
8月14日	総合訓練	検証訓練(夜間想定)
9月11日	防災訓練	地震想定
10月24日	避難訓練	水害による避難訓練



## 10. クラブ活動

クラブ担当者にて年間計画を作成し、参加者が活動内容を把握できるようにしました。クラブ活動を通じ、生活の中で楽しみを見出し余暇活動へ繋がるように努めてきました。また、生花クラブと音楽療法では講師を招き、より専門的な活動を継続しておこなってきました。

〔別記3〕

## 11. 教養娯楽

高齢化が進む中で、全ての利用者さんが参加できるように、選択制のレクリエーションを増やし、自分に合ったレクリエーションに参加できるように努めてきました。

また、利用者さんでプランを立ておこなう、マイプラン旅行もおこない日常生活の助長に繋がったと感じています。

※各棟グループレク実施状況は〔別記2〕のとおりであります。

## 12. 給食

生命保持、健康維持を目的として栄養を考慮した食品を選択し、安全でニーズにあった食事を提供します。生活習慣によって引き起こされる疾病予防や高齢に伴う障害を軽減し、おだやかな生活を過ごして頂ける様に健康作りを行います。

献立作成は、食事摂取基準・給与食糧構成を基に栄養バランス、消化吸収、バラエティに富んだメニューを考慮し、1日30食品摂取を目標とし、旬の食材等も取り入れながら、また郷土色豊かな食事、季節を味わって頂くなど嗜好面も考え作成します。給食会議、全体集会等の意見を反映させます。また、より家庭的雰囲気になくよう、行事食及び日常の食事において、お楽しみ献立や複数献立を実施しています。

調理業務は適温適時給食、食品鮮度の確保、薄味調理、盛り付けの工夫への努力を行い、月1度の検便の実施により食品事故を起こさないための定期検査、保存食確保等を実施します。

また、調理従業者の疾態（治療食）教育、衛生教育指導を始め各研修への参加を促進します。

疾病や障害等個々の状態にあった食事の提供で給食の質の向上を図っていきます。

本年度の基準は下記の通りとします。

1日当たり給食費 870円

エネルギー摂取量 1,780kcal

・蛋白質	60.0g	・ビタミンA	750μg
・脂 肪	45.0g	・ビタミンB <sub>1</sub>	1.30mg
・カルシウム	680mg	・ビタミンB <sub>2</sub>	1.50mg
・鉄 分	8.0mg	・ビタミンC	100mg

## 13. 嗜好品

日々の給食で補いきれない嗜好面を重視します。加齢に伴い疾病の誘因とならない様、適量の支給とします。利用者の高齢化、疾病の進行状況にあった代替品、個別対応品の導入も行っていきます。

支給日 月・水・土曜日

## 14. 健康管理

利用者の高齢化に伴い、各種健診、日常生活の中で利用者の変化に気づき、早期対応・治療が行えました。今年度もラジオ体操・散歩の積極的参加を促してきました。感染症に関しては、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン接種を行い、1日4回の施設内消毒、うがい、手洗いの励行を徹底してきました。今年度インフルエンザワクチンの接種を実施したが、罹患者39名の発生がありました。ノロウイルス罹患者はいませんでした。利用者の手指の消毒を施行し、部屋の隔離、居室配膳を行い、3週間ほどで終息宣言する事が出来ました。引き続き皆様の協力のもと、上記を続行と思いました。

## 月別患者数

科別	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内 科	通院者数	92	86	92	98	84	79	92	92	92	70	77	89	1043
	延べ人数	184	196	184	196	171	169	192	125	165	169	132	178	2061
精 神 科	通院者数	50	50	68	69	69	70	70	70	68	68	68	74	794
	延べ人数	68	72	90	90	89	89	91	90	74	71	83	93	1000
神経内科	通院者数	1	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	4
	延べ人数	1	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	4
皮 膚 科	通院者数	28	23	24	23	26	18	30	25	20	18	20	17	272
	延べ人数	55	45	45	45	36	41	57	52	52	40	40	39	547
外 科	通院者数	3	2	2	2	1	2	3	3	2	2	1	3	26
	延べ人数	3	4	3	2	1	2	3	5	5	2	1	4	35
整形外科	通院者数	15	18	16	19	14	16	17	17	13	17	11	9	182
	延べ人数	17	22	18	20	17	17	23	21	17	18	13	26	229
歯 科	通院者数	8	7	8	6	5	7	4	4	3	1		5	58
	延べ人数	21	15	21	15	17	11	7	7	6	3		12	135
脳 外 科	通院者数	6	6	8	7	9	4	7	5	10	9	6	8	85
	延べ人数	6	7	8	9	9	4	7	6	10	11	6	8	91
耳 鼻 科	通院者数	1	2	1		1	4	2	5	3	2	1	3	25
	延べ人数	1	2	1		1	5	2	7	4	3	1	3	30
眼 科	通院者数	16	13	8	4	10	11	10	6	3	4	4	12	101
	延べ人数	42	37	31	32	38	34	33	29	26	39	35	35	411
循 環 器	通院者数	1	1	1	1	—	2	1	1	1	1	2	1	13
	延べ人数	1	1	1	1	—	2	1	1	1	1	2	1	13
泌尿器科	通院者数	10	5	7	7	6	10	6	7	6	7	9	10	90
	延べ人数	10	6	10	7	7	13	13	9	19	11	13	11	129
外 傷	通院者数	—	1	—	2	2		1		1		1	2	10
	延べ人数	—	1	—	3	3		1		1		1	3	13
呼吸器科	通院者数	—	1		—	—	1	1		—		1	1	5
	延べ人数	—	1		—	—	1	1		—		1	1	5
乳腺外来	通院者数	—		—	—	—	—		—	—	—	—	—	0
	延べ人数	—		—	—	—	—		—	—	—	—	—	0
腫瘍外来	通院者数	1	—	—	1	—	1	—		1	—	—	—	4
	延べ人数	1	—	—	1	—	1	—		1	—	—	—	4
産科婦人科	通院者数	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		0
	延べ人数	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		0

## 主な年間行事実施状況（全体レク）

月 日	行 事 名	参 加 人 数	内 容
3.13	日帰り外食D班 (シャトレーズ)	利用者 20名 職 員 8名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気の中緊張したのか、最初は静かに食事をされていましたが、次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。
4.20	第37回 カラオケ交流会 (会場：静心寮) (司会：静心寮)	出場者 9名	静心寮の集会室に救護3施設の利用者が集まりました。各施設6名が出場し、自慢の歌を披露しました。最後は全員で合唱して閉会となり、久しぶりに仲間との再開を楽しむことができました。
5.29	ドライブレク (A班) 平岡ジャスコ	利用者 6名 職 員 3名	歩行が不安定な方を対象に、車でドライブをした後に軽食を楽しめるレクを実施しました。普段とは違う雰囲気と場所を堪能し、いつもと違う空域を吸って楽しまれていました。
6.14 ～15	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオナーネ	利用者 14名 職 員 6名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はお座敷で豪華なお膳を美味しく頂き、良い気分転換になりました。またカラオケで盛り上がり、良い思い出になりました。
7.1	白石福祉園夏祭り	全 員	福祉園の駐車場にての夏祭りを行いました。焼きそばやフランクフルトなどの夏祭りらしい食事や、ロイズのチョコが当たる抽選会や、的当てなどを行いました。
7.5 ～6	一泊旅行 旭川・美瑛・富良野 朝陽リゾート	利用者 4名 職 員 2名	富良野や美瑛を観光し、その後、ホテルでゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はバイキングを美味しく頂きました。次の日は旭川も観光し、良い気分転換になりました。
7.24	遠足 ゆにガーデン	利用者 34名 職員 9名	四季を感じるために、由仁町にあるユニガーデンに遠足へ行きました。おいしいお弁当をいただき、園内巡回バスへ乗り、花や秋の風を感じる事が出来ました。
8.10	合同盆踊り 合同花火大会	全 員	福祉園と静心寮の間にやぐらを立て、それを中心にみんなで盆踊りを踊り、仮装する方、踊りを楽しみました。その後、静心寮と合同で花火大会を行い、夏の夜風に当たりながら変わりゆく季節を感じました。
9.6	第16回 パークゴルフ大会 さとらんど	利用者 10名 職 員 3名	4つの救護施設でさとらんどに集まり、パークゴルフの腕を競い合いました。惜しくも優勝は逃しましたが、来年こそはと言い合いながら帰りました。
9.7	日帰りレク (A班) (シャトレーズ)	利用者 10名 職 員 5名	日帰りで食事と買物を楽しめるレクを実施しました。普段とは違う雰囲気ですべてを頂き、カラオケを楽しみ、お土産も購入し、短い時間でしたが楽しまれた声が聴かれました。
9.14	日帰りレク (A班) (シャトレーズ)	利用者 10名 職 員 5名	日帰りで食事と買物を楽しめるレクを実施しました。普段とは違う雰囲気ですべてを頂き、カラオケを楽しみ、お土産も購入し、短い時間でしたが楽しまれた声が聴かれました。

9.15	敬老会	全 員	70歳以上の方のお祝いで、今年は1名の方が新たに仲間入りをし、54名の方がお祝いを受けました。園長からお祝いの言葉を貰い、記念品の贈呈があり、敬老者の代表者からお礼の言葉がありました。
7.15 16	一泊旅行 函館 平成館	利用者 4名 職員 2名	利用者さんの希望や意見を取り入れたマイプラン旅行を実施しました。 自分の行きたいところなどが盛り込まれた旅行に皆さん満足されていました。バスではなく園ワゴンでの移動も良い思い出になりました。
10.19	日帰りレク (B班) (シャトレゼ)	利用者 14名 職員 5名	宿泊が難しい方を対象に実施しました。普段とは違う雰囲気です。食事を頂き、カラオケを楽しみながら、お土産も購入し、短い時間でしたが楽しまれた声が聴かれました。
11.11	第 63 回開設記念行事	全 員	多くの訪問客が訪れ、大いににぎわいました。焼き鳥、飲物、喫茶コーナー、お寿司コーナーがあり、多くの訪問客や利用者が開設記念を祝っていました。
12.4	園内園芸鑑賞会	全 員	今年度は「機弘社」の方に慰問していただき、じゃんぐリングなどを披露し、皆さん楽しまれていました。
12.7	もちつき	全 員	食堂にて園生の手でもちつきを行いました。交代でもちをつき、暮れの季節感を味わいました。
12.25	クリスマス会	全 員	例年通り、カラオケ大会、職員によるゲームと楽器演奏、サンタさんによるプレゼント、聖火隊による行進、クリスマスの食事と年に一度のお祝いを楽しみました。
1.11	新年会	全 員	カラオケ大会を行い、正月のお祝いをしながら、お互いに今年もよろしくという気持ちで一緒に歌を歌ったりして挨拶を交わしました。
2.3	節分	全 員	インフルエンザ蔓延のため、中止となりました。
2.15	園内ゲーム大会	全 員	
3.5	日帰り外食 A 班 (シャトレゼ)	利用者 16名 職員 7名	3月恒例の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.8	日帰り外食 B 班 (シャトレゼ)	利用者 11名 職員 4名	2回目の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.12	日帰り外食 C 班 (シャトレゼ)	利用者 20名 職員 8名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気のなか緊張したのか、最初は静かに食事をされていましたが、次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。
3.12	お茶会	利用者 11名	日帰り外食に行けなかった方を対象に、シャトレゼのケーキなどを食べるレクを実施しました。 普段と違う雰囲気で、お茶とケーキを楽しまれていました。

## 希望レク実施状況

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
4.11	外食 とんでん森林公園店前	利用者 6名 職 員 3名	外食で和食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
4.14	ショッピング（昼食なし） 厚別西友	利用者 5名 職 員 3名	ショッピングで昼食をせず、買物のみの厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買っており、楽しむことができました。
5.7	外食 とんでん森林公園店前	利用者 6名 職 員 4名	外食で和食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.12	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.23	ショッピング 厚別西友	利用者 9名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.2	外食 ラパウザ厚別通店	利用者 3名 職 員 1名	外食で洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.6	出前 福祉園内	利用者 10名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。
6.16	外食 ラパウザ厚別通店	利用者 9名 職 員 5名	外食で洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.27	ショッピング 厚別西友	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.11	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングでジャスコを希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.14	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングでジャスコを希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
8.15	外食 すしてん	利用者 11名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.18	外食 すしてん	利用者 9名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.22	外食 すしてん	利用者 9名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。

9.3	バイキング ロイン亭	利用者 1 2名 職員 5名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
9.5	バイキング ロイン亭	利用者 7名 職員 3名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
10.6	ショッピング アリオ札幌	利用者 9名 職員 3名	ショッピングでアリオ札幌を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
10.13	ショッピング アリオ札幌	利用者 4名 職員 2名	ショッピングでアリオ札幌を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
11.14	ショッピング（昼食なし） 厚別西友	利用者 5名 職員 3名	ショッピングで昼食をせず、買物のみの厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買っており、楽しむことができました。
11.21	お茶会 ロイヤルホスト	利用者 2名 職員 2名	お茶会を希望された方で、パフェなどを食べて楽しむことができました。
12.5	出前 福祉園内	利用者 7名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気のお食事をとってもらいました。
12.12	カラオケ 歌屋北郷店	利用者 2名 職員 2名	カラオケを希望された方で、昼食を取ながら好きな歌を歌って楽しむことができました。

〔別記3〕

## ク ラ ブ の 実 施 状 況

クラブ	参加人員		実 施 経 過 と 効 果
	使用者	職 員	
習 字	15	4	<p>一年を通して多くの方に参加して頂けるように声掛けを行いました。</p> <p>正月の書初では、数種類の見本から自分で選んでいただき、好きな文字を書いて展示しました。</p> <p>また、自分の名前をしっかりと書けるように練習をした利用者さんもいらっしゃいました。</p>
手 芸	7	3	<p>個々のペースに合わせ、楽しみながら刺し子を主に行いました。</p> <p>一人ではなかなかビーズ遊びができない方も、職員と一緒にやることで遊ぶことができたとの声もありましたので、来年度も引き続き声を掛けながら実施していきたいと思えます。</p>
音 楽	29	4	<p>多くの方が音楽を通じて楽しめるように、主に音楽のDVD鑑賞をおこないました。誰もが気楽に参加して楽しめるクラブになっていると思えます。継続的に、二ヶ月に一回音楽療法の講師を招いて、音楽を用いての日常の楽しみが持てるよう取り組みました。</p>
生 花	5	5	<p>各自で花器を選び、生ける花はくじ引きで選ぶ順番を決め、自由に花を生けた後に先生のアドバイスをいただきました。</p> <p>花は施設内の玄関や食堂などに展示し、ご本人が最後まで責任をもってお世話をし、忘れてしまう方には職員が声をかけながら実施していました。また開設記念行事では、生花や生花クラブの活動の写真などを展示し、たくさんの方に見ていただくことで意欲が向上したように思えます。先生より、創作意欲の向上につながるので展示会を観覧してはとの提案があったため、来年度の計画に盛り込めるよう検討したいと考えています。</p>
自 由	20	4	<p>今年度は四季折々のイベントに合わせてクラブを実施しました。</p> <p>こいのぼりの作成や風船割りなどを行い、参加者を限定せず皆さんと取り組みました。</p>
四つ葉の集い	2	2	<p>各施設の参加者の希望を聞きながら実施しました。公園などの公共施設や、施設屋外での活動と、他施設の情報交換や交流を通じて視力のハンデがある人の励みの場となるよう取り組みました。</p>



[別記4]

## 利用者の給食状況調

平成29年度  
入園者 平均 92.4名(緊急、検食、保存食含)

区分 月別	エネルギー	蛋白質		脂肪	1人1日当り 平均価格 (消費税含む) (円)
		蛋白質(g)	動物蛋白比(%)	エネルギー比(%)	
4	1,856	71	49.4	24.7	930
5	1,855	69.8	47.4	23	870
6	1,849	69.7	46.2	23.9	909
7	1,882	71	48	23	943
8	1,883	72.3	47.7	23.3	826
9	1,846	70.3	48.1	24.6	842
10	1,870	72.1	48.4	23.5	820
11	1,886	72.3	47.9	23.9	896
12	1,869	71.5	48.7	23.4	987
1	1,858	71.4	51.3	23.4	916
2	1,857	72.6	50.1	23.8	884
3	1,863	71.3	49.4	23.7	1,058
平均 (1ヶ月)	1,865	71.3	48.6	23.7	907
基準値	1,780	60.0	40～50	15～25	870

[別記5]

主 な 実 施 事 項

年 月	実 施 機 関	実 施 内 容	備 考
29.4	当 園	定期健診（利用者全員）  血圧・体重測定・身長	血圧高めにて毎日1人測定 毎月曜日1名（血圧） 毎火曜日4名 毎水曜日3名 3名毎金曜日（血圧）・血圧高め塩分制限（1名） ・体重増1名（毎日）・低体重にて、普通盛り（1名） ・肥満にて、揚げ物禁（1名）常食～お粥（1名）
29.4	対 癌 協 会	胃・大腸癌検診  男子：31名 女子：30名	・1名胃バリウムの結果胃潰瘍瘢痕にて、胃カメラ施行 軽い胃炎のみ ・1名便潜血あり、経過観察
29.6	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	腹部エコー検査  男子：44名 女子：46名	11名 腎のう胞→経過観察 8名 胆石→経過観察 1名 肝内石灰化→経過観察 3名 肝脂肪→経過観察 1名 水腎症→経過観察 1名 肝血管腫→経過観察 3名 肝のう胞→経過観察
29.6	白 石 中 央 病 院	乳癌検診：9名	9名 異常なし。
29.7	対 癌 協 会	乳癌検診2名 子宮癌検診1名	2名 異常なし。
29.6	結 核 予 防 会	胸部X－P（間接撮影）  男子：32名 女子：29名	・4名 要精検施行（広川内科クリニック） ・4名 問題なし。
29.10	当 園	定期健診（利用者全員）  血圧・体重測定	血圧測定（月曜日3名火曜日2名水曜日4名） 金曜日2名・2名（第2・4）血圧毎日2名 ・体重増大盛りから普通食（1名） ・低体重にて大盛り粥（1名）
29.11	当 園	インフルエンザ予防接種	39名罹患者（インフルA型36名、B型2名、A・B型1名）
30.1	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	肺炎球菌ワクチン接種 男子：4名 女子：6名	
30.3		男子：1名 女子：5名	

## 利用者の状況（措置人員）

（H30. 3. 31 現在）

定 員	現 在 員			
	男 性	女 性	計	充 足 率
100 人	46 人	50 人	96 人	96%

### 月別人員状況（平成 29 年度）

月 別 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
	月初日人員	98	99	99	97	95	95	95	93	92	94	95	96	年間平均 95.7
入 所	1				2	2	1		2	2	1		10	
自 己 退 所				1	3				1	1			6	
居 宅 保 護							2						2	
長期入院による退所		1		2			2						5	
他 施 設 異 動													0	
死 亡													0	
一時保護	入所	1	2	1	1	3	2	2	1	1	3	3	2	22
	退所	0	2	2	1	2	2	3	2	0	3	3	2	22
月末現在員	100	99	98	95	95	97	93	92	94	95	96	96	年間平均 95.8	

※は緊急入所からの正式入所

### 在所期間の状況

（H30. 3. 31 現在）

期 間 性 別	1 年	1 年	3 年	5 年	10 年	15 年	20 年	計	平均在所 期 間
	未 満	以 上 3 年 未 満	以 上 5 年 未 満	以 上 10 年 未 満	以 上 15 年 未 満	以 上 20 年 未 満	以 上		
男性	5	10	3	11	5	4	8	46	11 年 3 カ月
女性	3	6	2	5	3	5	26	50	27 年 4 カ月
計（人）	8	16	5	16	8	9	34	96	19 年 7 カ月
割合（％）	8.3	16.7	5.2	16.7	8.3	9.4	35.4		小数点第二位を 四捨五入

利用者年齢状況

(H30. 3. 31 現在)

年 齢 性 別	30 歳 未 満	30 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 60 歳 未 満	60 歳 以 上 65 歳 未 満	65 歳 以 上 70 歳 未 満	70 歳 以 上 75 歳 未 満	75 歳 以 上	計	最高	最低	平均 年 齢
	男性	1	1	4	9	5	9	5	12	46	88 歳	29 歳
女性	2	0	0	3	2	4	5	34	50	97 歳	25 歳	76.6 歳
計	3	1	4	12	7	13	10	46	96	総平均 年 齢		71.3 歳
割合(%)	3.1	1.0	4.2	12.5	7.3	13.5	10.4	47.9				

障がい・男女程度別調査

(H30. 3. 31 現在)

障がい別	程 度	男 性 (人)	女 性 (人)	計 (人)
身 体 障 が い	重 度	0	1	1
	中 度	4	2	6
	軽 度	0	0	0
知 的 障 が い	重 度	3	9	12
	中 度	4	6	10
	軽 度	1	0	1
精 神 障 が い	重 度	2	3	5
	中 度	9	5	14
	軽 度	4	3	7
重 複 障 が い	重 度	2	11	13
	中 度	6	4	10
	軽 度	2	1	3
そ の 他	中 度	4	0	4
	軽 度	5	5	10
合 計 (人)		46	50	96

※ 従来の合併障がいという分類を（精神障がいの重複を含め）重複障がいとする。

(重度障がい 31 名、中度障がい 44 名、軽度障がい 21 名)

(身体障がい 7 名、知的障がい 23 名、精神障がい 26 名、重複障がい 26 名、その他 14 名)

障がい別調査

(H30. 3. 31 現在)

病 名 性 別	身 体 障 が い		知 的 障 が い	精 神 障 が い	重 複	そ の 他	計 (人)
	視 覚	肢 体 不 自 由					
男性	2	2	8	15	10	9	46
女性	1	2	15	11	16	5	50
計 (人)	3	4	23	26	26	14	96
割合(%)	3.1	4.2	24.0	27.1	27.1	14.6	

障がい者手帳保持者の状況

(H30. 3. 31 現在)

身体障がい者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計 15名
	7	3	2	2	0	1	
療育手帳	A 7		B 13		B̄ 1		計 21名
精神障がい者保健福祉手帳	1級 7		2級 16		3級 2		計 25名

年金の受給状況

(H30. 3. 31 現在)

種別	障がい基礎年金	老齢基礎年金	障がい厚生年金	老齢厚生年金	基礎厚生年金	企業年金	その他	計
人員	45	5	1	10	8	6	1	76

利用者の親族等の状況

(H30. 3. 31 現在)

1	2	3	4	5	6	7	8	計
配偶者あり	親あり	子供養子を含むあり	兄弟姉妹あり	1～4以外の親族あり	知人のみ	身寄りなし	不明	(人)
2	11	17	74	16	3	6	0	129

出身世帯との連携状況

(平成 29 年度)

項目	回数					計 (人)
	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 5 回	年 6 回 ～ 11 回	年 12 回 以 上	
出身世帯の面会状況	76	13	3	3	1	96
出身世帯への通信 (*1)	91	2	3	0	0	96
出身世帯からの通信 (*2)	81	7	8	0	0	96
外泊の状況	93	1	1	1	0	96

\*1…広報誌年 4 回の送付、入退院時の連絡、年賀状等は除く

\*2…年賀状等は除く

疾病別調査（重複含む）

（H29.4.1～H30.3.31）

内 科	人数	精 神 科	人数	そ の 他	人数
高血圧＋その他	20	統合失調症	19	皮膚科	34
糖尿病＋その他	10	興奮性知的	3	眼科(白内障含む)	31
消化器疾患	26	てんかん	5	泌尿器科	13
心疾患	9	知的障がい	30	外科及び整形	17
高脂血症	27	認知症	11	耳鼻科	7
呼吸器疾患	13			脳外科	12
そ の 他	35	そ の 他	20	そ の 他	30

入院状況（医療機関の変更や重複者も含む）

（H29年度）

内 科	外 科	整形外科	精神科	脳外科	眼 科	泌尿科	肛門科	耳鼻科	循環器科	呼吸器科	乳腺外科
9	4	1	4	1	0	2	0	0	2	1	0

日常生活調査（ADL状況より）

（H30.3.31 現在）

区分	歩行			食事			入浴			着衣			排泄										
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車椅子使用	歩行不能	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	昼間				夜間			おむつ使用		
														トイレ				おむつ使用	トイレ				
														自分で可能	一部介助	全介助	車椅子使用		自分で可能	一部介助		全介助	車椅子使用
実数(人)	65	17	14	(11)	84	10	2	50	37	9	80	14	2	91	5	3	(5)	3	91	5	3	(5)	3
割合(%)	67.0	17.5	14.4		86.6	10.3	2.1	51.5	38.1	9.3	82.5	14.4	2.1	93.8	5.2	3.1		3.1	93.8	5.2	3.1		3.1

## 実施機関別人員調 (措置人員)

(H30. 3. 31 現在)

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市	16	13	29	後志総合振興局	2	1	3
小樽市	1	2	3	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	1	2	3	上川総合振興局	1	2	3
室蘭市	0	0	0	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	1	3	4	胆振総合振興局	0	1	1
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	1	2	3	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	2	0	2	根室振興局	0	1	1
美唄市	0	0	0	石狩振興局	1	0	1
三笠市	2	4	6	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	4	6	10				
富良野市	0	1	1				
千歳市	2	1	3				
稚内市	1	1	2				
石狩市	0	0	0				
江別市	1	0	1				
滝川市	2	0	2				
北広島市	1	0	1				
伊達市	2	0	2	小計(人)	7	14	21
小計(人)	39	36	75	合計(人)	46	50	96



